

救急・災害看護論	3年・後期	1単位	教授 千明 政好他
科目カテゴリー	看護の統合	科目ナンバリング	34121033

### 1. 授業のねらい・概要

救急医療および看護に必要な基礎的事項を理解すると共に、救急看護に必要な知識、技術を習得する。施設外救急看護である災害時の医療体制および看護に必要な基礎的事項を理解すると共に、発災時以降への長期的視点を持った生活支援に関する知識、技術（自助・共助・公助）を学習する。あわせて、救急・災害時の患者および家族の心理的ケアを学ぶ。

### 2. 到達目標

1. ガイドラインに則った一次救命処置法と AED 使用法、救急処置法を習得する。
2. 災害時に実践できる基本的な救急処置法を習得する。
3. 救急認定看護師の役割、災害時の看護援助等について理解する。

### 3. 授業の進め方

講義と演習を中心に授業を進める。

### 4. 授業計画（演習）

1. 救急看護の概念、救急看護の対象理解、背景、心理、家族ニーズ、救急患者の観察とアセスメント等(千明政好)
2. 救急体制と対応、救急認定看護師の役割、一次救命処置（千明）
3. 演習：一次救命処置（千明・片貝智恵・助手）
4. 演習：救急処置、止血法、包帯法、窒息処置等、（千明・片貝・助手）
5. 災害の概念、定義、国内外の災害（千明）
6. グループ討議；災害の備えと対応（千明）
7. 一次救命処置実技テスト（千明・片貝・助手）
8. 救急法実技テスト（千明・片貝・助手）

### 5. 成績評価の方法・基準

筆記試験 50%、実技評価 30%、課題レポート 20%で評価する。

### 6. テキスト・参考文献

教科書：系統看護学講座専門分野 成人看護学[1] 成人看護学別巻[救急看護学] 医学書院

参考書：随時紹介する。

### 7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な学習内容

シラバスの範囲をみて、関連するテキストで事前学習して望むこと。事前学習の必要時間は各自で考え十分に実施すること。最低1時間以上目安。一次救命処置・救急処置の技術の修得ができるように十分に予習復習し受講すること。

### 8. 受講上の留意事項

シラバス該当範囲の知識に関して 30 分程度予習して臨むこと。

### 9. 課題に対するフィードバックの方法

指示した課題は教員が内容をチェックして返却する。内容の不備なものは再提出を求める。

定期試験の解答は試験後口頭でフィードバックする。

### 10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

選択科目であるが、看護師に必要な急変時対応などの内容なので受講することが望ましい。保健師と養護教諭課程希望者は必修単位である。

### 11. 実務経験のある教員等による授業科目

担当する教員全員が看護師として数年から 20 数年の臨床経験を持つ。